

■誰でも確実に上達する英語の学び方

以前、社員の皆さんに挑戦してみたいことをお聞きしていた時、何人かの方が英語を身につけたいと話されていました。現場でも英語を使う機会は増えてきていると聞きます。私も英語には大変苦勞した思い出があり、その経験を元に、今月は誰でも確実に上達出来る英語勉強法をご紹介しますと思います。

まず、英語を学ぶにあたって、何のために学びたいのか、自分の願いを紙に書いておきます。この願いを立てておくことが、あきらめずに継続するエネルギーになるので大切です。

次に、目標を設定します。自分が英語を学んで外国の方とお話している時のことをイメージしてみてください。皆さんどのくらいのレベルまで上達したいでしょうか。流暢に何の苦勞もなく話している自分を思い浮かべていらっしゃるでしょうか。それとも、旅行や道案内など日常的な会話では困らないレベルでしょうか。

ここでは、日常会話で困らない程度を目標にお伝えしたいと思います。英語学習のために、参考になるのが筋肉トレーニングです。筋肉をつけるには、運動をしたり、タンパク質をとることをコツコツと継続する必要があります。一気に筋肉隆々になれる人はいません。まず、トレーニングの時間を生活の中で確保し、継続することが大切です。まずは10分、やがて30分、1時間といった具合に確保する時間を徐々に増やしていくと良いでしょう。

では、トレーニングのために何をするかですが、オススメは中学英語の徹底的な復習です。中学で学ぶ内容は文法的にも簡単なものが多いので、ついわかっていると思いがちですが、実は頭でわかっているも使えないケースが多いのです。私のオススメの教科書は「森沢洋介著『どンドン話すための瞬間英作文トレーニング(CDつき)』ペレ出版」です。この本は中学1年から3年までの基礎英語を、口に出しながらひたすら繰り返し、筋トレのように練習するための本です。1冊やりきるのにそれほど時間はかからないでしょう。しかし、そこで終わりにせず、さらに同じ本で何度もトレーニングを続けていきます。私はこの本を2冊ボロボロにしました。地道に繰り返す時間の中で、脳内に英語回路が育つのです。まるで、筋トレで筋肉が育つように。

これからオリンピックに向けて、日本には外国からのお客様がさらに増えるでしょうし、英語を使う機会も増えると思います。願いを紙に書くこと、目標設定、時間確保、そして地道な繰り返し。そうすればきっと、英語でのコミュニケーションをもっと楽しめると思います。

代表取締役社長 八木 陽一郎